



今年の冬はそれほど寒くも無いので、ちょっと外に出たり歩きたくなったりしますね。第94号では、1月に開催された「道の語り部養成講座」の様子を報告します。これも道守活動のひとつで「道の歴史を語り継ぐ人」を育てる試みです。

◆道の語り部養成講座◆

日程：平成31年1月19日

道に関連する土木建造物の歴史的価値等を後世に伝えていけるような『道の語り部』を養成する講座が1月19日に開催されました。

今回は長崎市の中島川沿いの橋梁にスポットを当て、普段何気なく使っている橋も、その橋がたどった歴史や文化的価値を聞くと見え方が変わります。長崎の橋梁は当時の最先端の技術が詰まっていると知り、いかに江戸時代の長崎が発展していたかを想像できました。

ホテル茶屋から
スタート!!



案内人 長崎大学 岡林名誉教授



長崎県内にある土木関連遺産の重要文化財登録や長崎街道の歴史研究など精力的に実施。また、島原半島においてインフラツーリズムを計画・実施されています。当会の顧問として、語り部の育成に協力していただきました！



眼鏡橋を下から観察！
アーチ式石橋の構造の優れた特徴とは？

ここの柱のメモリは長崎大水害の水位を記録しているんですよ。



リベット接合のトラス橋である出島橋。供用中の鉄橋では日本で最古！！



知らない事が
たくさん！



出島表門橋で
ゴール!!



集合
写真



出島表門橋 はしふき

あなたも参加して
みませんか？

2018/01/28 18:00~

夕暮れになると、どこからともなく人が集まり出島表門橋を拭き始めました。その集まりは「はしふき」と言うそうです。「掃除をして愛着を持ち、愛着を持った方々が橋を長持ちさせる。簡単に言うと自分の車を洗車しているようなもの。」同ページでご紹介している「道の語り部養成講座」で知り合った「DEJIMA BASE」の江口代表にこの「はしふき」の話聞き、この感覚は道守と一緒にだと思いつきました。主に第2、第4週の月曜日に実施しているようです。掃除道具は準備してありますので、お近くの方は参加してみたいかがでしょうか。

★活動情報募集★ 皆様の活動状況の情報提供をお願いします。

お問い合わせ
情報提供先

国土交通省 長崎河川国道事務所 調査第二課 古賀
住所：〒851-0121 長崎市宿町316番地1
TEL：095-839-9861 FAX：095-839-9648